



たかぎ 議会だより

No.105 令和6年4月



うま 美し郷 喬木 150周年！今、新たなステージへ！！

P2.3 新年度予算

P4.5 総務産業建設常任委員会
予算決算常任委員会

P6 社会文教常任委員会

P7 議会かつどう・アレ・これ

P8.9 一般質問・地域課題への取り組み

P10 小学生との懇談会

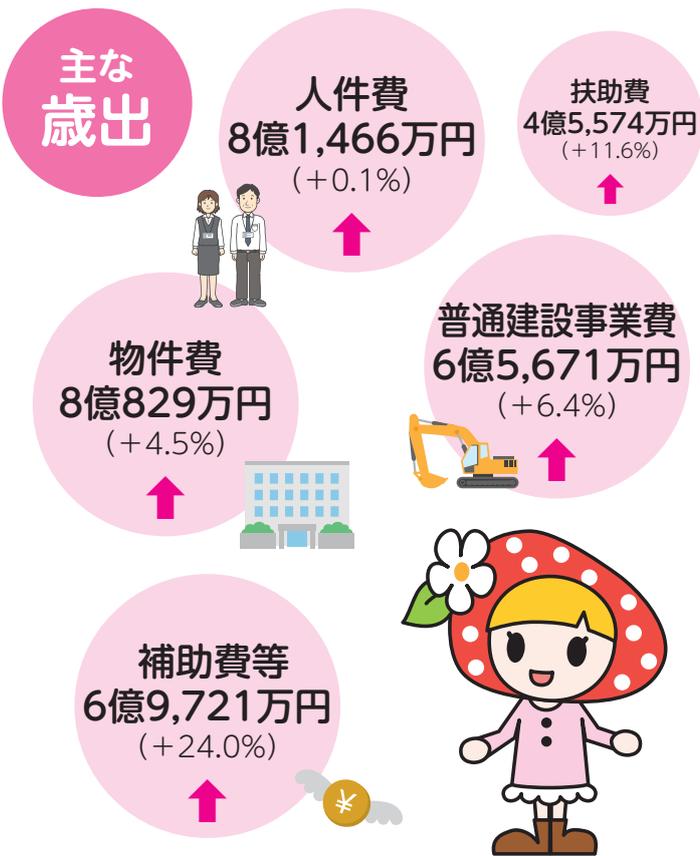
P11 任期最後のモニターとの懇談開かれる！

P12 この村でがんばってます

～保育園バスは人気もの～



新たな次代に向け



一般会計当初予算

特別会計当初予算額

国民健康保険特別会計	5億7,500万円	(6.5%増)
後期高齢者医療特別会計	1億300万円	(10.8%増)
介護保険特別会計	8億3,500万円	(3.5%減)

タカギ家の家計簿

支出

食費 (人件費)	81万円
医療費、介護 (扶助費、社会保障費)	46万円
自宅改修、車の購入など (建設事業や災害復旧 などの投資的経費)	66万円
ローンなどの返済 (公債費)	31万円
その他の生活費 (産業振興など)	206万円
合計	420万円

村予算の構成比 (小数点第2位を四捨五入)

主な歳出	人件費 19.4%	普通建設事業費 15.6%	物件費 19.2%	補助費等 16.6%	扶助費 10.9%	その他 18.3%
------	-----------	---------------	-----------	------------	-----------	-----------

令和6(2024)年度

喬木村発足 150周年記念事業 「美し郷喬木 150周年!今、新たなステージへ!!」

- 新 村発足 150周年記念事業 30,000千円
喬木村発足 150周年 (村政施行 135周年) を記念した各種行事を行う 【記念式典 令和6年9月28日(土)】

関係(つながり)人口の創出と住民活動の再興

- 新 移住定住交流推進支援事業 (関係人口創出事業) 660千円
英語を学ぶ大学生を当村に招き、村内伝統工芸品のPR動画を制作することで訪日観光客の増加につなげる
- 新 サテライトオフィス等開設支援補助事業 (関係人口創出事業) 87,000千円
村内でサテライトオフィス整備を行う民間企業に対して補助を行う

子育て支援の充実と移住・定住促進

- 新 中央保育園敷地宅地造成事業 (宅地造成事業) 57,741千円
中央保育園敷地において住宅用分譲地の整備を行う
- 中原住宅団地宅地造成事業 (前年度予算繰越) 77,836千円
中原住宅団地の住宅用分譲地の整備を令和6年度に予算を繰り越して実施する

- 新 子どもの居場所運営委託事業 (社会福祉協議会関係経費) 1,289千円
子どものための居場所づくりに関する事業運営を、社会福祉協議会に委託する
- 新 子育て支援事業 (前年度予算繰越) 45,792千円
子ども家庭センター開設のための施設建設工事を令和6年度に予算を繰り越して実施する
- 新 子ども家庭センター開設準備 (子育て支援事業) 8,130千円
子ども家庭センター開設のためのネットワーク構築や備品等の整備を行う

災害に強いむらづくりの推進

- 排水ポンプ車購入 (債務負担行為) (災害対策経費) 55,000千円
内水氾濫等の災害への備えを推進するため、排水ポンプ車を購入する。

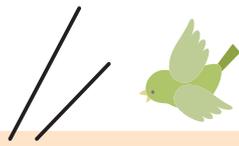
新時代を支える社会基盤の整備と景観形成

- 放送設備更新工事 (次世代ネットワーク事業経費) 82,393千円
4K放送に対応するため庁舎放送設備と各家庭に設置されている端末 (ONU) の更新を行う

未来投資型予算可決



42億円



事業会計当初予算額

水道事業会計 3億 418万円 (21.9%減)
 下水道事業会計 6億 5,870万円 (21.8%増)

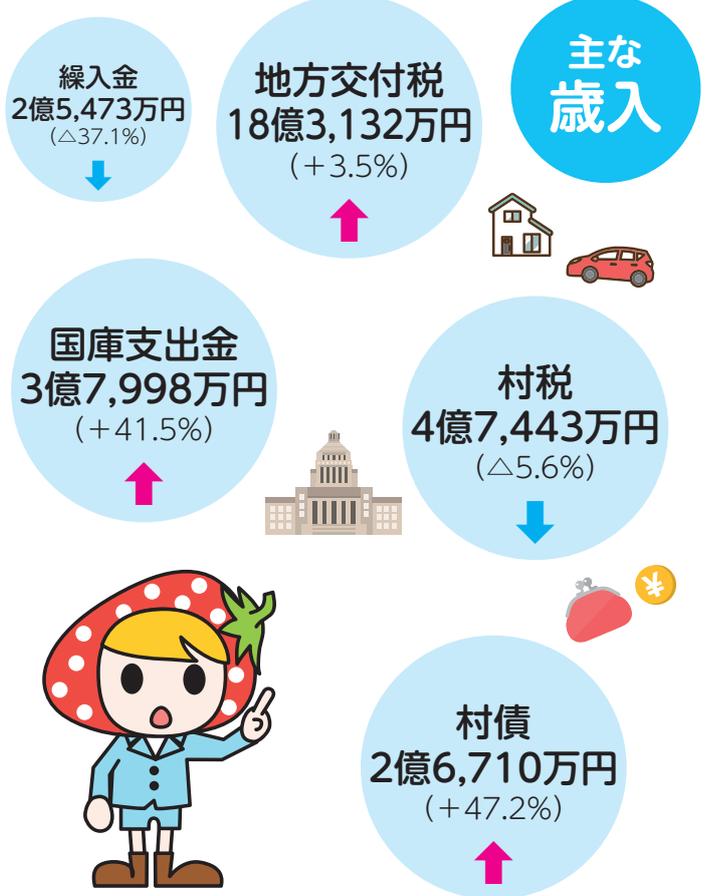
※()内は前年度比

～村一般会計当初予算案を
 1年間の家計に例えると～
 (※家計簿の1万円を村予算の1千万円で換算。)



収入

給料(村税)	48万円
子どもからの仕送り (地方交付税、 国庫支出金など)	231万円
貯金などの取り崩し(繰入金)	25万円
ローンなどの借入れ(村債)	27万円
その他	89万円
合計	420万円



主な
歳入

村税 11.3%	地方交付税 43.6%	国庫支出金 9.1%	村債 6.4%	繰入金 6.1%	その他 23.5%
----------	-------------	------------	---------	----------	-----------

一般会計当初予算のポイント

- 新** 新残土処分場詳細設計測量調査業務(土木管理経費) 20,000千円
 新たな残土処分場整備のための詳細設計や測量調査を行う
- 道路橋梁新設改良経費 219,764千円
 村道6号線(富田)、村道3号線(馬場)、村道625号線(伊久間)等の道路修繕工事を行う
- 拡** メルヘン散歩道整備事業(教育委員会事務局一般経費) 6,133千円
 メルヘン散歩道(とろりん公園・樹木園周辺)の支障木伐採や街路灯の設置を行う
- 拡** 棕文学ふれ愛散策路看板等修繕工事(棕記念館図書館運営経費) 2,000千円
 棕文学ふれ愛散策路の表示案内看板等の修繕・改修を行う
- ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み**
- 拡** 特養喬木荘照明LED化工事(喬木荘等維持管理経費) 10,880千円
 脱炭素化社会実現のため、特養喬木荘の照明のLED化工事を行う
- 拡** 中学校グランド照明LED化改修工事(保健体育施設管理経費) 27,300千円
 脱炭素化社会実現のため、中学校グランドの照明のLED化工事を行う

地域経済活動の促進

- 拡** 地域商社設立に向けた協力隊事業(地域おこし協力隊事業) 15,600千円
 むらづくりを進める地域商社設立のための協力隊活動を民間企業に委託する
- 拡** 各種媒体を活用したPR広告事業(観光振興経費) 1,451千円
 インターネットやメールマガジンを活用した観光PR広告を充実させる

DXによる住民サービスの向上と業務の負担軽減

個別最適な学びの充実

新型コロナウイルス感染症への対応

- 新** 高齢者の新型コロナワクチン定期接種費用の軽減(予防接種事業経費) 6,400千円
 令和6年秋冬に実施する新型コロナワクチン定期接種にかかる窓口負担の軽減を行う

総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤文彦

本定例会において総務産業建設常任委員会に付託議案はなく、令和6年度の委員会調査研究内容などについて協議を行った。

《調査研究継続の課題》

- 1, 井水の課題について
- 2, 野生鳥獣対策について
- 3, 通学路の安全確保について
- 4, 地域から出された課題（18項目）解決について



①関係人口の創出と住民活動の再興

Q サテライトオフィス開設支援の予算が計上されているが、サテライトオフィスの整備を行う事業者はすでに決まっているのか。募集はどのように行われるのか。

A 整備事業者は現時点（3月13日時点）では決まっていない。事業者の募集と選定は、プロポーザル方式により実施しており、ホームページ等で2月末まで公募し、2社から参加申込があった。3月14日に企画提案審査会を実施し、事業者を決定する予定である。

Q 旧北保育園の改修設計は、あれだけの規模の建物で、なおかつ避難所という意味合いも持たせた建物で、村の所有から切り離すことが可能なのか。

A 旧北保育園は、たかぎ保育園建設に充てた起債の条件により、令和9年度末までに村の所有から切り離し、民間事業者に譲渡する必要がある。

全国的に公共施設を保有することなく公共サービスを提供する手法の活用事例が増えてきており、民間事業者に譲渡した際の避難所としての活用については、設置条例で規定することにより避難所としての機能を持たせていく。また、避難所以外の阿島傘関連やレンタルスペースとしての活用も、設置条例に規定することで機能として持たせていきたい。

Q 今までの分館役員は、今の時代にだいぶそぐわなくなって来たと感じている。分館役員の負担軽減、参加する方の軽減、人と人のつながりを重視していくことと理解した。そのために公民館として何をすべきか、そのための事業展開は何なのか？

A 今回、本館よりお願いする役員を削減した。分館行事（地区での活動）はおおいに行って欲しい。分館の役員については、地区の実情等があるので、全てを本館で決めるのではなく、各分館で考えて欲しい。分館と本館で色々知恵を出し合って今後も進めていく。数年かかるかもしれないが、令和6年度は、まずはスタートの年とし、より良い公民館のあり方を常に意識しながら進めていきたい。

Q 地域力創造アドバイザーとは、具体的にどのような人材、人を想定しているのか。

A 地域力創造アドバイザーは、国に登録された地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家で、地域力創造アドバイザーを招へいし、指導・助言を受けながら取組を進める費用に特別交付税が措置される事業となっている。

村では、リニア・三遠南信時代を見据えた一定程度普遍性を持った村づくりの構想を示すランドデザインを住民参加型で策定する予定としている。策定に当たっては、地域力創造アドバイザーとして地域力創造株式会社の近藤代表を想定し、指導・助言を受ける予定としている。

地域力創造株式会社とは、令和5年度に村の地域課題解決とそれに取り組み企業とのマッチングを行う県のおためし立地チャレンジナガノでマッチングしている。

予算決算

令和6年喬木村議会第1回付託された議案第10号からついて、3月6日午後1時から、審査を行った。

議員の

令和6年度当初予算

- ①関係人口の創出と
- ②子育て支援の充実
- ③新時代を支える社
- ④災害に強い村づく
- ⑤喬木村発足150周

令和5年度補正予算

令和6年度当初予算

総括質疑

慎重審議の上、採決した結果、は、いずれも全会一致で、原

②子育て支援の

Q 子どもの居場所づくりをしているか。

A 児童・生徒との面談、支事務局と連携している。教福祉協議会、保健福祉課がたい。

《令和6年度 委員会重点項目》
地域課題解決のための農村RMOの
調査・研究・提言

農村型地域運営組織（農村RMO）とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと。

常任委員会

委員長 小川原 美智穂

定例会において、本委員会へ議案第19号までの10議案から予算決算常任委員会を開催

視点

5つの重点項目

- 住民活動の再興
- と移住・定住促進
- 会基盤の整備と景観形成
- りの推進
- 年記念事業

質疑 12件
質疑 43件
7件

本委員会に付託された各議案案とおり可決すべきものと決

充実と移住・定住促進

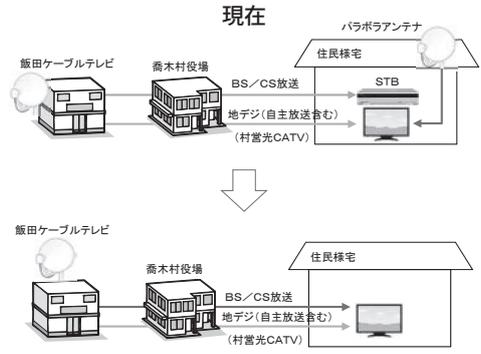
は、教育委員会とどんな連携

援内容について、教育委員会育委員会事務局、学校、社会連携を密にして、事業を進め

③新時代を支える社会基盤の整備と景観形成

Q 次世代ネットワーク事業放送設備の更新によって、利用料が上がると聞いた。どの程度の金額を想定しているのか。

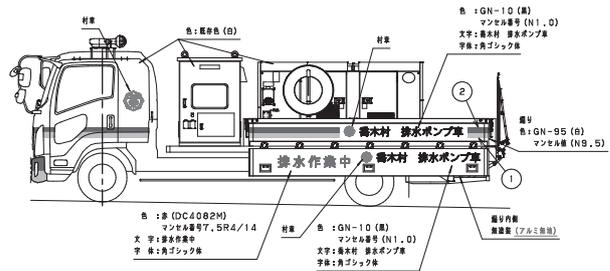
A 利用料は、今一般財源を投入している。次世代ネット事業にかかる経常的な経費を、利用者の負担金で賄えるような事業内容にしていきたいと考えている。具体的な金額や時期は、今後検討していきたい。



④災害に強い村づくりの推進

Q 排水ポンプ車の設置場所は、伊久間の浄化センター跡に計画されていると思うが、浸水警戒地域でもあり、そういうところも加味されて整備される計画なのか。

A 今回の補正予算で概略設計費を計上しているが、排水ポンプ車の作業スペースであるとか、増水時に退避する場所とか提案してもらい、その中で優先順位を付け整備していきたい。



⑤喬木村発足150周年記念事業

Q 喬木まつりを150周年記念の9月28日にすることで、8月15日に何も無いのは寂しいと言う声をたくさん聞く。「お盆じゃないと帰省できない」と言う方や、「二十歳の集いの夜に何も無いのは寂しい」と言う声が多い。住民の声を受けて方針が変わらないのか。再考とか、企画を今後検討できる余地があるのか。8月15日何らかできる形になるのか。

A 11月1日の実行委員で式典を9月28日に行う。喬木まつりもその日に合わせてやって行こう。その日にできるだけ集中させて盛り上げて行こう。ということで、実行委員会全体で承認いただいている。8月15日に事業がなくなることについて、住民の皆さまから、直接事務局の方に「寂しい。」という話は今まではなかったが、本日住民の方から「成人式の後に何も無いのは寂しい」と相談が初めて来た。

15日のイベントの開催は、現在は予定されていませんが、今後、イベントを開催していただける方やグループ、団体等からの提案などあれば、冠事業として開催は可能です。また、開催にあたっては、事務局で相談にものれますし、予算や人員の確保のこともありますが、内容によっては主催事業としてもできる可能性はあります。



美しく 喬木150周年!
今、新たなステージへ!!

令和6年第1回定例会 3件の付託議案を審議した。

議案第1号 第9期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について

計画の期間は令和6年度から令和8年度の3か年。

〈本村の現状〉 令和5年10月現在の高齢者人口 2,184人。高齢化率 36.4%。独居高齢者世帯・高齢者二人世帯は589世帯(27.3%)。令和5年の 要介護・要支援認定者総数 347人 認定率 16.1%。要介護3～5は全国、長野県平均を上回っている。施設利用が増加し、給付月額が増加している。

健康寿命 男性82.8歳 女性82.1歳 元気高齢者の割合 74.4%

村の健康課題は 高血圧・糖尿病・脂質異常症・腎不全による人工透析増加傾向

質疑：3件

討論：賛成1件

➔ 採決：賛成多数

⇒原案可決

第9期 基本目標：共に支えあい、誰もがいきいきと自分らしく暮らせる村

重点取り組み：推進目標

- 健康長寿でいきいきとした暮らしの実現
- 世代を超えて共に支え合う地域社会づくり
- 望む場所での安心安全な暮らしの確保
- 安定した介護サービス基盤の整備と適正な運営

計画の最終成果指標：元気高齢者の増加 社会参加をしている人の増加



議案第4号 喬木村介護保険条例の一部を改定する条例の制定について

第9期（令和6年～8年度）の3年間の介護保険料を決める条例

- ・基準となる介護保険料 ➔ 5,700円/月 に改定 8期の5,750円/月 から50円引き下げ
- ・介護保険料を決める所得段階 ➔ 現在の10段階から13段階に変更
- ・各所得段階に係る保険料の基準額への乗率を国の基準に沿って定める

質疑：1件 討論：賛成1件 ➔ 採決： 賛成多数 ⇒ 原案可決

*丁寧な説明が必要：所得段階が細くなることで、より公平性が高まる。多くの段階の保険料軽減の一方で、第11段階以上の被保険者では保険料が上がる。



議案第5号 喬木村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

省令の変更にもとづくもの（概要）

- ・ケアマネジャーの事業者が介護予防支援事業の指定を受けることが可能になる。（現在は村地域包括支援センターのみ）
- ・経過措置であった 虐待防止・災害時・感染症発生時等の業務継続計画策定が義務になる。
- ・管理者の責務の明確化・兼務ができること
- ・利用者への説明・合意などの記録の保存に電磁的記録が認められること

質疑：1件

討論：なし

➔ 採決：賛成多数

⇒原案可決

「介護予防支援」て なーに？

介護認定において要支援1・2の方が対象。心身の状態を把握し、必要なサービスがスムーズに利用できるよう、計画を作り連絡調整を図る。

議会かつどう・アレ・これ

12月定例会以降行われた、議員活動についてピックアップしてお伝えします。村主催のイベントなど、様々な活動を行ってきました。議員活動の様子を少しでも知っていただけたらと思います。尚、3月定例会については、各委員会のページにて報告します。

1月

喬木村消防団出初式

令和6年1月7日(日) 喬木村福祉センター
午後1時30分から観閲、その後福祉センター多目的ホールにて式典が開催された。長年功績のあった消防団員への表彰が行われ無災害への誓いを新たにした。



団員による行進

飯伊市町村議会議員研修会

令和6年1月22日(月) 飯田市鼎文化センター
研修会は、早稲田大学名誉教授 北川正恭 氏を迎え「地方分権から見る今日的課題住民に寄り添い、その思いを実現する地方議会とは」について講演を聴いた。

議会運営研修会

令和6年1月23日(火) 松本浅間文化センター
テーマ「地方議会の運営について」等

令和5年度喬木村総合表彰式・新年会

令和6年1月26日(金) 喬木村福祉センター
コロナ禍でしばらく開催が中止されていたが、久々に村の各分野で活躍されている皆さんが一堂に会し、村の将来について語るひと時を過ごした。



表彰者の皆さん

2月

第一小6年生懇談

令和6年2月27日(火) 喬木第一小学校体育館
児童達が、それぞれのテーマごとにプレゼンテーションをし、議員や村関係者と懇談した。
(詳細は10ページにて紹介)

3月

小学校・中学校卒業式

令和6年3月15日(金)
第一・第二小学校体育館
中学校体育館
午前小学校卒業式は第一、第二にそれぞれ議員が分散して出席、午後は中学校の卒業式に全議員が出席した。

令和5年度総合計画重点プロジェクト成果発表会

令和6年3月19日(火) 喬木村福祉センター
役場職員による令和5年度重点プロジェクトについて「4つのプロジェクト」の発表が行われた。

- A・小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
- B・関係人口拡大プロジェクト
- C・協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
- D・DX推進プロジェクト



郷土に関する教育について

後藤 澄 壽 議員



Q 郷土に関する教育について、現在どのような教育が行われ、今後どのような教育を行う考えか。

A 小学校では、社会科的分野では、「店で働く人」「農家で働く人」を、歴史的な分野では歴史民俗資料館の見学や館長の出前授業など行っている。総合的学習の時間では、小学校では、議会参観、中学校では議会の見学や村長への提言など行っている。ふるさとへの誇りと愛着を持てる児童生徒を育てていきたい。

■「人口減少問題」と子どもに対する支援について



大規模災害による被災時の対応について

下平 貢 議員



Q 自主防災組織の再確認と、住民自治に対する住民意識への浸透について

A 村では、地区ごとの「防災支え合いマップ」の作成を通じ、身近な災害リスクや高齢者等の要配慮者を含む様々な情報を、近所同士で確認する機会としている。また、令和6年度からは、地区ごとの災害対策の基本となる「地区防災計画」の策定を予定しており、地域防災力の強化につなげていく。

■避難所の設営と生活インフラの確保

■喬木村地球温暖化防止実行計画



「小さな拠点づくり」周辺の道路網と公園整備について

福澤 一成 議員



Q 下段地域の道路公園の一体的整備を行うことは、住民の住み続けたい村、選ばれる村として以前にも増して重要。

A 下段地域の道路整備は、住環境向上に重要と考える。これまで202号線など複数の整備を行って来たが、担当課の目標では「下段地域の地域内道路の整備構想を地区と共に進める」とし、地域、地権者の皆さんと展開したい。また、公園整備は小さな拠点周辺の全体構想の中での検討が望ましいと考える。

■下水道耐震化の現状は

■今後の下水道耐震化に向けての計画は



第5次総合計画の最終年度に向けた取り組みについて

木下 温 司 議員



Q 第5次総合計画、後期計画の進捗状況と、各目標の現状について伺う。リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据えた対応など。

A 開業後を見据えた地域振興策の検討については、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道、中央自動車道を有機的に結ぶ道路ネットワークの整備が重要と考えている。県道上飯田線については長年の要望活動の成果により、阿島橋架け替えについて新年度調査費が計上予定と聞いている。

■関連して、少子化への対応、訪問介護等への対応、認知症予防等を問う。

地域課題への取り組み

令和5年度に行われた地区懇談会や各種団体との懇談会において様々な課題をお寄せ頂きました。早速取調査研究を進め、課題解決に向けた道筋を探って参ります。

主な内容

- 議員のいない地域へのカバーをどうするか
- 今後の自治会組織のあり方
- 人口増加対策
- 中山間地への企業誘致
- 高校・大学卒業後の地元への定着
- 有害鳥獣対策
- 空家対策
- 通学路の安全対策
- ため池の防災対策
- 消防団員確保
- 耕作放棄地対策
- 河川の氾濫対策
- 堰下 GW 跡地利用
- 胡桃沢埋立地の後利用
- 中原地区の遊歩道整備、景観形成
- 高齢者世帯への防災支援



新年度当初予算について

佐藤 文彦 議員



Q 「関係人口」創出のための、外部人材の活用や民間企業との連携について、どのような変化や効果を期待されるか

A 外部人材と地域住民の交流が深まる場の創出や、住民自らむらづくりに参画する雰囲気の高まりが期待される。そのため本年度の取り組みとしては、地域で活躍する地域プレイヤーを掘り起こし、地域プレイヤーと民間企業を含めた関係人口が連携して地域課題を解決していく動きを作り上げたい。

- 2年前に掲げた課題に対する評価と今後の方針
- 任期後半で挑む事業施策
- 新年度予算の重点項目



人口ビジョンに関する重点方針や施策の展開について

櫻井 登 議員



Q 人口の将来展望として目指すべき目標がありますが、施策をどのように展開されるのか。

A 昨年10月、住民基本台帳人口が6,000人を下回る状況となっている。人口を維持するため「合計特殊出生率、若い世代の流出率半減、新移住者の転入」の3パターンを想定し組み合わせることで2025年には6,000人、2040年には5,500人を維持する。加えてサテライトオフィスの整備や都市部の学生との交流等、新たな取り組みを展開したい。

- 再生エネルギー供給会社の誘致について
- 定期的な歯科検診実施について



村発足200年を目指す持続可能な村について

小川原 美智穂 議員



Q 持続可能な地域コミュニティの構築について（伝統文化の継承と支援策）

A 地域を中心に実施・継承が行われているため、内容や規模等把握できていない部分も多く、具体的な支援には至っていない。来年度、地域おこし協力隊事業を民間企業に委託し、地域課題を住民と連携し解決する事業を進める。課題の1つに「伝統文化の継承」を組み入れ進めていくことも1つの方策である。

- 令和6年度当初予算について（自主財源確保・財政調整基金）

たかぎ村



役場庁舎前の記念碑について

Q : なぜ役場の記念碑は115年？

A : 建立された平成元年は「ふるさと創生事業」が全国で行われました。自治体の基礎となった明治21年市制町村制に続き、明治23年府県制郡制が施行され、周辺自治体はこの時の発足が多く100年記念事業が多数となりました。すでに喬木村は明治8年発足し平成元年には115年を迎えており、村の歴史を尊び将来の理想郷を記念する事業として115年記念碑が建立されました。この時、村内に建立された記念碑等は24か所32基で、115年記念碑等の他、村歌1番から8番の歌詞にあわせて、地区ごとに村歌の石碑が建立されています。



記念碑位置図

り組ませて頂いた内容もありますが、議会の立場で、

- 地域の支え合いの精神の醸成教育
- 生理用ナプキンの学校トイレへの常備
- 給食費の無償化
- 中原グラウンドの広域利用の推進
- 子育て支援の更なる拡充
- 民生児童委員の処遇改善



小学生との懇談会

2月27日、第一小学校6年生52人から、総合的学習で学んだ「村の課題について」7グループに分かれ提案発表があり、議員と村関係者が出席し、児童たちと懇談を行った。

阿島傘グループ

役場に阿島傘展示のコーナーを設け、夜ライトアップしたときの写真を表紙にしたパンフレットを作成し、「これを近くの市町村でもおいてもらえませんか」と要望。

滝グループ

夏の「禍誤除け滝」、冬の「禍誤除けの滝」を訪ねその様子を写真に撮り、「村外の人にも来てもらえる観光スポットにするためには、途中の道路の整備をしてほしい」と要望。

観光グループ

「ガイドウェイヤード跡地」、「上平カントリークラブ跡地」利用について考え、親子が楽しく過ごせる公園、キャンプ場などを提案。

「特産品フェス」グループ

150周年記念式典にあわせて村で生産された野菜や果物、畜産物などの特産品、の販売などを提案。

PRグループ

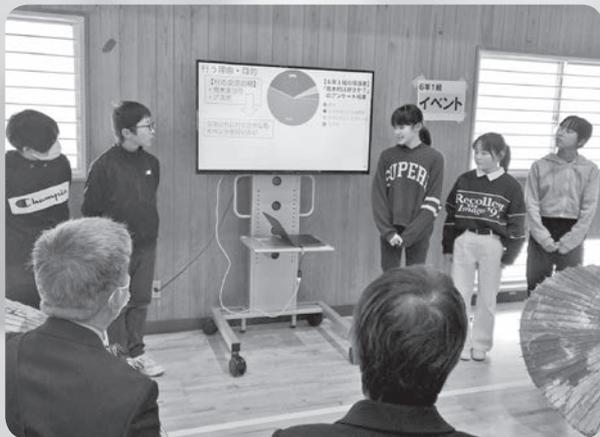
CM大賞参加作品を制作した村の担当者と懇談し、村のPRを提案。

保育園グループ

たかぎ保育園を見学し、自然の多い喬木村で子育てする魅力についての提案。

老人ホームグループ

お年寄りに「小学生とどんなことをしたいか」アンケートをし、小学生・保育園児との交流会を提案。



発表する小学生



小学生が提案したパンフレット



任期最後のモニターとの 懇談開かれる！



公聴委員会
委員長 中森 高茂

3月末にて、前議会モニターの任期が完了し、4月より新しい議会モニターを迎えて新たな体制でスタートする。

今回のテーマ「地域コミュニティの抱える課題」

懇談会で出された意見

自治会・区会について

- ① 役員のみならず不足・地域行事の見直しが必要だ。
- ② 高齢のため組合脱退もある。定年制があっても良いのでは。
- ③ 人より役の数が多くなっている。一軒で何役もやっている。
- ④ リニア関係の移転や高齢化により人間関係が希薄化している。
- ⑤ コロナ禍により、住民のつながりが希薄化し、見守り機能が低下している。
- ⑥ 女性の意見も入って変革できたら良い。
- ⑦ みんなで助け合っていないと暮らしていけない。
- ⑧ 地域コミュニティの再構築が必要だ。

公民館活動について

- ① 未来の子供たちのために何をするか、未来に向けた取り組みをしていくべきだ。

祭典等について

- ① 阿島の獅子は村全体に参加者を呼び掛けて継承していく。
- ② 現在阿島子供獅子は30人を超える練習参加がある。
- ③ 他の地域では獅子・お囃子の担い手不足が深刻化し存続が難しい。

社会福祉等について

- ① 認知症カフェなど住民主体の取り組みの継続を後押ししてほしい。
- ② 消防団員不足、150周年事業への要望、井水管理などの問題点や要望等が提起・提案された。

新議会モニター名簿

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
北	福澤 康明	寺の前	肥後 貴夫	帰牛原	大平 正和
郭	吉川 順二	町	松島 健司	南	杉本 美紀
両平	松澤 豊實	田上川	大島 直文	伊久間	栗岩 洋
富田	新井 裕行	大和知	多田 弥生	氏乗	木下 吉照
加々須	下澤 豊	伊久間	湯澤 直幸	富田	小池 伊佐子
上平	池田 英明	馬場	中谷 公勇	北	熊谷 千穂子
北	佐野 弘明	富田	清水 和文	北	知久 隆文
富田	鈴木 美樹雄	南	原 俊明	北	仲田 和文
寺の前	原 智明	帰牛原	高橋 聡子	町	宮崎 剛史



信頼していただける企業づくり

(株)小林石材

当社は喬木村をはじめとした飯田下伊那を中心に、墓石・石工事・仏壇仏具等の販売をしております。喬木村伊久間に本社を置き、紫苑上郷店、紫苑新野展示場があり、さまざまな地域の方からご依頼をいただきます。時代の変化もある中で、創意と工夫をしながらお客様のニーズに合った商品を提案させていただいております。



本社（喬木村伊久間）



ショールーム

主となる墓石工事では、施工させていただいた方からのご紹介や口コミ等で新たにご来店いただく方も多く、日頃より信頼していただける企業づくりを意識しています。

皆様に支えられて今期をもちまして20周年記念をむかえました。喬木村をはじめ飯田下伊那地域の皆様には、大変感謝しております。今後も更に地域の皆様に愛される企業を目指して頑張っておりますのでよろしくお願い致します。

議 会 日 誌

1月

19日 全員協議会・議員全員協議会

2月

7日 全員協議会・議員全員協議会
21日 議会モニター懇談会

3月

4日 令和6年第1回定例会開会
6日 各常任委員会
9日 一般質問
13日 予算決算常任委員会
19日 定例会閉会・議員全員協議会
25日 議員全員協議会

今後の予定

4月

11日(木) 全員協議会・議員全員協議会
24日(水) 議会モニター懇談会

5月

8日(水) 全員協議会・議員全員協議会(予定)

6月

6日(木) 令和6年第2回定例会開会(予定)
13日(木) 各常任委員会(予定)
15日(土) 一般質問(予定)
21日(金) 定例会閉会(予定)

7月

未定 全員協議会・議員全員協議会

第1回 定例会 一般質問

YouTube



見てネ!



故郷が桜の花につつまれ、入園、入学など、新たな門出に華やかさを添えてくれます。

また、今年本村では、村発足150周年の記念事業が多数計画されています。村民皆さんで、お祝いし、新たなステージへ歩み始めようとしています。今後も住み続けられる村づくりに向け、課題解決に取り組みたいと考えます。

本年元旦に発生した令和6年能登半島地震では、甚大な被害に見舞われ、今なお厳しい生活を送られているとお聞きします。この喬木村にこのような災害が発生しないことを強く願うばかりですが、議会としても未来を見据えて共に住みよい村づくりを考えたいと思います。(福澤一成)

編集委員会

委員長 福澤 一成
副委員長 小川原美智穂
委員 松村 光洋
委員 後藤 澄壽
委員 木下 温司